

組合運動の統一を組織の内に求めたものである。

- 一、関東労働組合會議への参加
- 二、農民労働党への参加

三、労働農民党への参加並に全國組合會議への出席

右三項に對する我等の努力は我等の意圖を裏書きするものである。然し左翼の分裂的利己政策も口實として一切の階級的立場を否認し以て支配階級の懐柔策に迎合せしむる総同盟の右翼幹部は除き其他の彈壓手段を以て我等の努力を阻止せしむるに至り、総同盟の全体的統一の發展性は全く失われた。硬死せる総同盟の形體を破つて我々は更生した。然し現下の無産階級運動は労働組合の統一を求むることよく切である。この大衆的要求の實現こそは我が組合同盟に課せられた歴史的使命であり、この任務は又誤れる極左翼との小児病的左翼に對する闘争を通じての實現し得る、分散的不統一の廢絶の上、日本労働党の結成と直接の契機として、我が組合同盟は踏出した。左右両翼の破壊的抗争によつて、消極化されつゝあった労働大衆は憤然として我等の聲に應呼してゐた。かくて日本労働黨總聯合は断じて中間的折衷の形態ではなし、左右両翼の破壊的指導精神を否定して生れた。第三の意識的闘争組織である。

組合同盟の出現と日本労働黨總聯合の結成の全過程は更に又其の後に於ける、實際的闘争の結果は我々が正しかつた事も立證してゐる。船越炭坑争議其の他に於ける左翼の行動を見よ、更に又評議會の内部的動機を見よ、更に又左翼の別動隊たる統一運動同盟の非行を見よ、彼等はその「左翼的情熱」にも拘けず客觀的に無産階級の陣營を攪亂し、大衆的指導精神を欠如せしむるのたうしが明白である。他方又統一同盟幹部の陰謀的組合破壊策を見よ、凡ゆる方面に於て行はれつゝある資本家との結託を見よ、彼等は常に反動愧惱となりつゝある、而し兩者の存在は、今後尚續くであらう。

一は革命に對するブルジョアの幻想に立脚し、他は帝國主義的ブルジョアの分裂欺瞞策に合致する。日本労働黨總聯合の現下の任務は、如上の両分派に對する徹底的闘争と遂行するに同時、區々に分散せる労働組合の闘争力を産業別並に地域的に補充せしめ、その集中的統一組織の發展せしむることである、かくてのみ我國労働階級並に農民を資本主義の桎梏より解放し得るものである。

我が組合同盟は、日本労働黨總聯合の一構成要素として、既に決定せる方針の實現に飽くまで努力せんとするものである。統一同盟並に評議會が過去に於て犯したと失敗、即ち、自己中心主義に陥ることなく、我國労働運動の現状に對する明確なる認識に基づき、日本労働黨總聯合の確實充実に努力せんとするものである。